

LLLT 照射症例 550 名の治療経験から見たアンチエイジング  
 - 抗加齢（健康長寿）医療に  
 低出力レーザー照射は有効か？ -

医療法人アエバ会 アエバ外科病院 脳神経外科・アンチエイジング部

草野孝文

【目的】低出力レーザー照射（LLLT）は腰痛、関節痛、筋肉痛など身体の疼痛を緩和、鎮痛することで運動療法を実践しやすくすることができるか？頸部交感神経節近傍照射（ST-LLLT）は心身ストレスを緩和させ頭痛や睡眠障害の治療となるか？骨粗しょう症の予防・骨癒合に効果があるか？酸化ストレス損傷を修復し抗酸化能を高めるか？などについて調べ、アンチエイジング抗加齢（健康長寿）医療に低出力レーザー照射の有効であるか？を検討した。

【対象と方法】LLLT は OhLase-HT2001（日本医用レーザー研究所）GaAIAs 半導体レーザー 830nm60mW を使用し、平成 18 年 9 月～平成 21 年 2 月末まで 550 症例、計 3339 回照射：男性 199 名、女性 351 名、頸部交感神経近傍照射 15 分、大後頭神経照射 5 分、疼痛部位・圧痛点照射 15 分、中枢刺激法（大城先生）を施行した。平成 18 年 6 月～平成 21 年 12 月末まで抗加齢ドック受検者延べ 175 名、男性 77 名（平均 62.9 歳）、女性 98 名（64.6 歳）に対して疼痛、心の症状、骨粗鬆症、皮膚老化、生活習慣と体内年齢・酸化ストレス度などを測定調査した。再検者 27 名 男性 14 名（平均 64.4 歳）、女性 13 名（64.4 歳）スクワット 20 回、日 2 回、有酸素運動（早歩き）週 3～4 回運動療法の効果を調べ、LLLT 適応症例を把握する目的で検討した。

【結果】LLLT 症例を検討した結果、関節痛、筋肉痛、腰痛などの疼痛の改善効果を認めた。運動習慣のある群では筋年齢と骨年齢が若かった。LLLT による疼痛治療の併用でより運動療法の効果が期待できる。LLLT は頭痛、肩こりに対しても改善効果があり、ストレスによる後頭神経痛、緊張型頭痛に特に有効であったことから頸部交感神経節照射はストレスの改善ならびに睡眠障害の改善にも有効と考えられた。LLLT の応用によりアンチエイジング医療の効果（疾病予防・健康長寿）を高めることが期待される。



